

# デジタルバンキングへの取組み

当行では、こうしたデジタル化技術は金融機関に大きなチャンスや可能性をもたらすと考え、「新たな付加価値の創出」や「お客さまの利便性向上」に取り組んでいます。さらに新中期経営計画では、デジタルと店頭相對（フィジカル）との効果的なミックス（デジカル戦略）を推進します。

## 「新たな付加価値の創出」や「お客さまの利便性向上」の取組み

### スマートフォンの普及に伴う顧客ニーズへの対応

#### ○自動家計簿 資産管理サービス「マネーフォワード for 群馬銀行」の提供

（マネーフォワード社が当行のお客さま向けに開発したスマートフォン・アプリの提供）

群馬銀行の口座やクレジットカードの他、他行の口座やクレジットカード、電子マネー、マイレージやポイント等、複数口座の一括管理、毎月の食費や光熱費などの自動分類・グラフ化も可能なアプリ。

#### ○インターネット支店と群馬銀行アプリ

インターネット支店は群馬銀行アプリで口座開設でき、インターネット・バンキングや ATM 取引可能。スマホで取引を確認できるアプリ「かんたん通帳」を利用可能。ATM 手数料の優遇制度も有り。

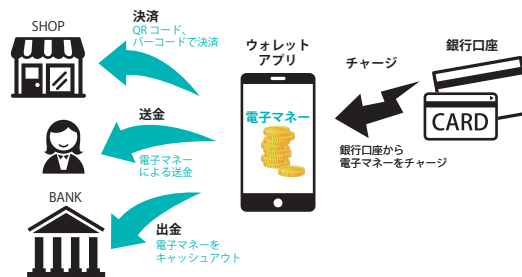


《かんたん通帳》

#### ○ネット決済・電子マネーへの取組み

以下のネット決済・電子マネーに対応しています。

- ・J-Coin Pay
- ・Origami
- ・Yahoo! ウォレット
- ・LINE Pay
- ・楽天 Edy
- ・オズパーク
- ・メルペイ
- ・プリン



### 株式会社フィンクロス・デジタルの設立

2018年6月、地銀7行のパートナーシップにより、「株式会社フィンクロス・デジタル」を設立しました。パートナーシップは、「新しい地銀の未来を、デジタルの力で。」という共通認識をもった銀行が集まったものであり、幅広く先進的な取組みを議論する場としています。

金融機関にとって厳しい環境が継続するなか、社会経済のデジタル化の進展を、地方銀行にとってチャンスと捉え、新会社を通じて、様々なアイデアを具体化し実現することにより、地方銀行業務の高度化やお客さまサービスの飛躍的な向上をめざしています。

#### （参考数値）

7行合計 ビッグデータ
普通預金 1,090万口座
融資先 80万先



#### 参加銀行



#### 〈目的〉

1. オープンイノベーション
2. 低コスト運営の実現
3. データの有効活用
4. 収益機会等の創出
5. 新たな事業分野の展開